

富士フイルム(株)富士宮工場 サステナビリティレポート 2015

ご挨拶

富士フイルム富士宮工場は世界文化遺産富士山の南西山麓に位置し、豊富な湧水や清澄な 空気の恩恵を受けております。また、1963年の創立以来、地域やステークホルダの方々のご理解富士宮工場長 ご支援をいただき深く感謝しております。

私たちは生産活動に伴う環境への影響を正しく認識し、環境を大切にする風土を先人から引継 ぎ、教育・伝承するとともに、情報を積極的に公開し、環境保全に日々努力して参りました。昨年度 は環境保全の取り組みが評価され、緑化優良工場等関東経済産業局長賞をいただきました。

これからも私たちは廃棄物削減と適正処理によるゼロエミッションの継続、使用エネルギーの一層 の削減、さらに化学物質の適正管理などに全力で取り組みます。また、地域の皆さまとの意見交換 の場である環境対話集会の毎年開催、工場を流れる清水川の清掃作業などにより、地域の皆様と のコミュニケーション活動を展開し、環境保全に努め、地域との共生をはかって参ります。



富十フイルム(株)

*このレポートは、

富士フイルム(株)富士宮工場(関連会社含む) の環境・安全及び地域とのコミュニケーションに ついて、2014年度の活動や実績をまとめた ものです。

対象期間: 2014 年 4 月~2015 年 3 月

FUJ!FILM

平成27年度 富士宮事業場 基本方針 一つ一つを確実に、 ―つ―つに変化を!

- 従来の取組み 総点検 ―

安全: 危険を感じて自分を守り、危険を伝えて仲間を守ろう! 〜 決め事・ルールを守り守らせる〜 環境・環境リスク低減と環境ドダ推進で、環境トラブルを未然に防止しよう! 品質: 次工程・服客の要求を満たす一定品質を追求しよう!



富士宮工場の概要

1963年10月16日 創立

所在地 〒418-8666 静岡県富士宮市大中里 200番地

主要生産品目 医療及び工業用 X-レイフィルム、プレスケール、 写真印画紙用支持体、インクジェットペーパー、

太陽電池用保護フィルム、光学フィルムなど

マネジメントシステム ISO9001、ISO14001、OHSAS18001 認証取得

2014 年度概況 生産金額 621 億円

従業員数 1,218 人(関連会社含む、2015年3月末時点)

工場敷地面積 358 千 m² 工場建物面積 132 千 m²

ʹ環境年表

1963年 富士宮工場創立

富士宮市公害防止協定締結

1996年 ISO14001 認証取得 2001年 ゼロエミッション達成

2007 年 PRTR 大賞優秀賞受賞 2011 年 產業廃棄物滴正処理推准

功労者知事褒章受賞

3R 推進協議会会長賞受賞

2014年 緑化優良工場等関東経済

産業局長賞受賞

環境負荷概要

主要原材料

パルプ、PET、ポリエチレン、ゼラチンなど 93,257t

エネルギー

重油·灯油 42.763kl 7.715MWh 電力

天然ガス 33,232 ↑ Nm³ 水 15.095 千 m³

X-レイフィルム、印画紙用支持体など 77,455t 環境成績

大気排出 VOC122t、CO2198,349t、SOx13t、NOx200t 15,232 千 m³

排水水質 BOD 21t、COD 50t、SS 12t、総リン量 3.5t 一般廃棄物 39t、産業廃棄物 1.029t、有価物率 90%

環境保全活動の概要

大気 各項目とも法令及び富士宮市との公害防止協定の規制値以下でした。

排水 法規制及び公害防止協定より厳しい工場管理基準値を設け、各項目とも基準値以下でした。

ゼロエミッション 2001 年にゼロエミッションを達成し、その後も維持・継続しています。

環境モニタリング 定期的な地下水モニタリングにより、土壌や地下水の水質に問題ないことを確認しました。

PCB の適正管理 低濃度 PCB を含む浚渫物 10.394m3を適正に保管・管理し、地下水への漏えいがないことを

確認しています。

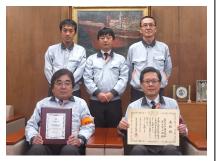
研究棟排気設備の老朽化に伴い、近隣住民から騒音のクレームがありました。原因を究明して、 クレーム

再発防止策を講じました。

【特集-1】 ~緑化優良工場等関東経済産業局長賞の受賞~

富士宮工場のこれまでの緑化活動が評価され、2014 年度の「緑化優良工場 等関東経済産業局長賞」を頂きました。この賞は工場とその周辺環境との調和 を図ることを目的とする工場立地法の精神を踏まえ、工場緑化を積極的に推進 し、工場内外の環境向上に顕著な功績があった工場等に与えられる賞で、今回 静岡県からの推薦を受け、集まった候補の中から選ばれての受賞でした。

富士宮工場は 358 千 m²の広大な敷地に 76 千 m²の緑地を有し、除草剤を 使わずに緑地管理を行っています。敷地内には森もあり、工場内の湧水を源泉と する公共河川清水川が流れ、ホタルや野鳥の生息地となっています。





川沿いには全長 500m の遊歩道を整備し、従業員のリフレッシュに適した自然 🜃 あふれる遊歩道となっています。 こうした自然を守るために、「環境保全」と 「地域共生」を掲げ、周辺環境に配慮した活動や地域交流活動を積極的に 行っています。近隣住民と一緒になって清水川清掃を実施したり、環境対話 集会では説明だけでなく、見学会も行っています。また、敷地内にある体育館は 地元のバドミントンクラブ等にも開放しています。夏祭りは地域の方々と従業員が 一緒に楽しむ交流の場になっています。これからも地域に根ざした活動を行い、 環境保全に努めてまいります。

【特集-2】~環境負荷低減と高耐久性を実現する太陽電池用保護フィルム~

太陽光発電市場は、エネルギー・資源問題や地球環境問題 への対応の観点から重要性が高まり、急速に市場が拡大して います。太陽光発電システムには、長時間での屋外設置にも 耐えられるように、背面に太陽電池を風雨や紫外線から保護 するフィルム(バックシート)が用いられています。

富士フイルムでは独自技術により、バックシートに用いられる PETフィルムの高耐久化の開発に成功し、これを搭載した太陽 光発電システムの耐用年数を 1.5 倍に高めました。その結果、

システムを構成する材料の消費量や廃棄物発生量が約2/3に低減しました。

さらに、富士宮工場の生産工程においても、従来のバックシートのような複数の フィルムの貼り合わせではなく、前述の高耐久性 PET に機能層を塗布する方式を 開発することにより、CO。ガスの発生を約 1/4 に削減しました。

これらの技術によって環境負荷の飛躍的な低減に貢献したことが高く評価され、 2014 年度「グリーン・サステイナブルケミストリー(GSC)賞 |の「環境大臣賞**」を 受賞しました。

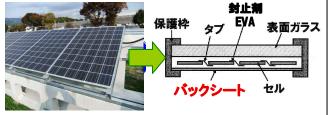


図 1 太陽電池用保護フィルム

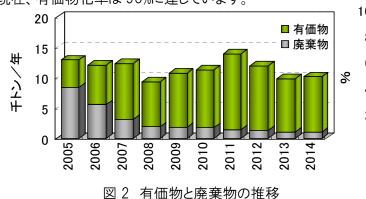


※公益社団法人新化学技術推進協会が「GSC 推進に貢献し、特に総合的な環境負荷削減に貢献した業績」に授与

環境保全活動

1)廃棄物削減と3R^{*}推進

*3R:リデュース・リユース・リサイクル 生産安定化や徹底した分別回収により有価物化を推進し、継続して廃棄物発生量の削減に取り組んでいます。 現在、有価物化率は90%に達しています。





2)水質汚濁防止

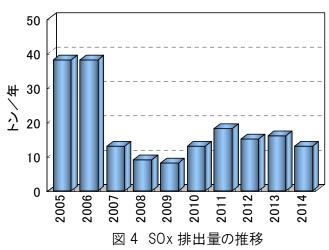
河川放流水の水質は富士宮市との公害防止協定範囲内であることを維持しています。また、敷地内の地下水でも すべての物質が環境基準値内を維持しています。

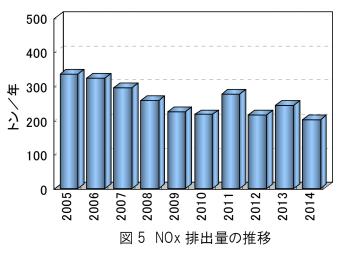
表1	放流水の水質
~V	. // //////////////////////////////////

分析項目	単位	法令 規制値	静岡県 条例値	公害防止 協定値	工場 管理値	実績 〔2013 年〕	実績 〔2014 年〕
pH(水素イオン濃度)	-	5.8~8.6	5.8~8.6	6.4~8.3	6.4~8.3	6.6~8.0	6.9~7.9
BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/l	最大 160	30	9	9	4.3	3.7
		平均 120	20	6	6	1.5	1.4
COD(化学的酸素要求量)	mg/l	-	最大 30	16	13	6.6	5.2
			平均 20	8	8	3.4	3.3
浮遊物質量(SS)	mg/l	最大 200	40	20	5	1.9	1.3
		平均 150	20	12	3	0.7	0.8
フェノール類	mg/l	5	-	-	-	< 0.5	<0.5
大腸菌群数	個/ml	3,000	ı	_	_	8	1
窒素含有量	mg/l	-	-	-	-	4.1	2.2
リン含有量	mg/l	-	-	_	_	0.1	0.3

3)大気汚染防止

大気放出ガスの監視により、富士宮市との公害防止協定範囲内であることを維持しています。



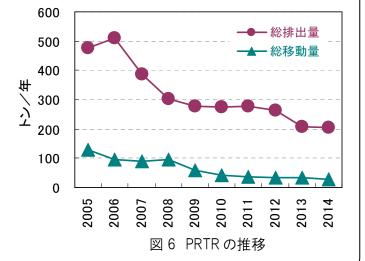


4)化学物質の適正管理 ~PRTR 対象物質・自主管理対象物質の管理状況~

PRTR 法(化学物質排出把握管理促進法)に基づき、 人の健康や生態系に影響を与えるおそれがあり、且つ 環境中への排出量や移動量が年間1トン以上の化学 物質について、行政へ報告しました。

自主管理対象物質も含めた総排出量(大気排出と 水域排出)は横ばいでしたが、総移動量(廃棄物)は 継続して減少しました。また、土壌への排出は継続して ありませんでした。

それ以外の原材料や研究・検査・工程管理用の化学物質についても、労働安全・環境保全・製品安全や廃棄物管理など、総合的な観点からリスクを評価し、管理基準を設定して使用するシステムを構築して管理・運用しています。



労働安全衛生

決め事・ルールを守い守らせ、安全感度の向上で 労災ゼロ・交通加害事故ゼロを**達成しよう!**

1)労働災害ゼロへの取り組み

- ・「決め事・ルールを守り守らせる(相互指摘等)」、「一人ひとりの安全感度の向上」を重点とした 安全行動・安全活動の継続推進
- ・労働災害や重大ヒヤリの横展開による類似災害の防止

2)交通加害事故ゼロへの取り組み

・通勤途上の加害事故0件に向け、交通事故防止策の推進

3)心身の健康づくりと職場環境向上の推進

- ・長時間労働による健康障害防止、メンタルヘルス推進(予防と対応)
- ・健康有所見者に対する健康保持増進の支援と禁煙の推進
- ・職場環境の向上

4)その他

- ・富地区全体で一体感持った安全衛生活動の推進
- ·防災対策の推進(総合防災訓練、交代者夜間防災訓練、富士山噴火対応訓練)

5)朝の挨拶運動

·2005 年以来、従業員が交代で各門に立ち、元気な挨拶を交わしています。

6)安全教育・講習会・講演会の実施

- ·安全衛生大会(参加者 380 名)
- ・従業員向け・役職者向けメンタルヘルスセミナー(受講者 1,036 名)
- ·交通安全体験車(参加者 153 名)
- ·危険体感教育(累計受講者 1,249 名)、KYT、工具取扱い教育等
- ·安全協議会主催講演会(参加者 240 名)

演題:「安心」のしおり ~「ALL FOR YOU」の精神で守る空の安全~

講師:元全日本空輸客室乗務員 吉永由紀子様





社会とのコミュニケーション

1)工場周辺の清掃(2014年6月2日、参加者約500名)

6月の環境月間に、環境保全の意識を高めるため構内放送による PR を行い、環境異常発生時の対応訓練、環境関係機器の点検、廃棄物置場の点検と清掃などを実施するとともに、工場周辺道路や潤井川周辺などの清掃活動を行いました。

2) 夏祭り(2014 年 8 月 1 日、参加者約 2,000 名)

フイルムパークグランドで開催、従業員とその家族のほか、近隣住民の方々にも参加いただき、新人紹介、バンド演奏などのステージショー、お子様向けお菓子撒き、大抽選会、そしてフィナーレでの打上げ花火など、夏のひと時を大いに楽しみました。

3)富士宮市環境フェア(2014年10月18-19日、参加者約220名)

富士宮市環境フェアに参加して、工場で使用した水の浄化処理や製品の リサイクルについて現物も使った展示を行い、環境保全の活動を来場者に 紹介しました。 ※右写真中央は視察中の富士宮市長須藤様

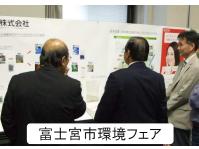
4) 大中里地区環境対話集会(2015年2月21日、参加者56名)

大中里地区との共催による環境対話集会を工場内で開催し、環境保全活動を紹介するとともに、地域の皆さまの声に耳を傾け意見交換しました。 また当日は、地元中学生と教職員合わせて 23 名が参加されたこともあり、 分かりやすく説明することに努めました。

5)工場見学受入(通年、来訪者 225 名)

静岡県環境保全協会、企業、学校など、2014年度も大勢の方々が来訪され、工場紹介のほか、環境保全活動の説明、排水処理施設や発電施設などを見学していただき、環境を接点としたコミュニケーションを図りました。







このレポートに関するご意見・お問い合わせは下記までお願いいたします。 富士フイルム株式会社 富士宮工場 事務部 環境保全課 TEL:(0544)26-7175 FAX:(0544)26-7176 発行:2015年9月 制作:富士フイルム株式会社 富士宮工場